

財政収支(2017年1-9月)

(1) 2017年1-9月における歳入は前年同期比12.9%増。法人税や付加価値税の伸びが大きく、税収は17.1%の増加となった。

(2) 歳出面では、経常移転が前年同期比21.8%増加するなど、歳出全体では17.2%の増加となった。

(3) 財政収支は316億リラの赤字となり前年同期から大幅のマイナス。プライマリーバランスは49.5%減少し、150億リラの黒字。

データ:財務省 単位:百万リラ

歳入・歳出内訳	2016年(A)	2017年(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	404,485	456,608	12.9%
税収	328,974	385,349	17.1%
所得税	69,422	79,534	14.6%
法人税	30,993	39,918	28.8%
付加価値税(国内及び輸入)	92,023	109,273	18.7%
特別消費税	85,664	98,775	15.3%
その他税収	50,872	57,849	13.7%
税外収入等	75,511	71,259	▲5.6%
歳出(b)	416,521	488,221	17.2%
人件費	113,640	122,711	8.0%
物品及びサービスの購入	33,568	40,551	20.8%
経常移転	167,465	204,054	21.8%
資本支出	28,880	37,399	29.5%
支払利子(c)	41,678	46,577	11.8%
その他歳出	31,290	36,929	18.0%
財政収支(a-b)	▲12,036	▲31,613	▲162.7%
基礎的財政収支(a-(b-c))	29,642	14,964	▲49.5%

経常収支(2017年1-8月)

(1) 2017年1-8月の経常収支は、前年同期比19.0%減少し、272億ドルの赤字。

(2) 貿易収支は前年同期比23.0%の減少、旅行収支は同22.1%の増加。

データ:中央銀行 単位:百万ドル

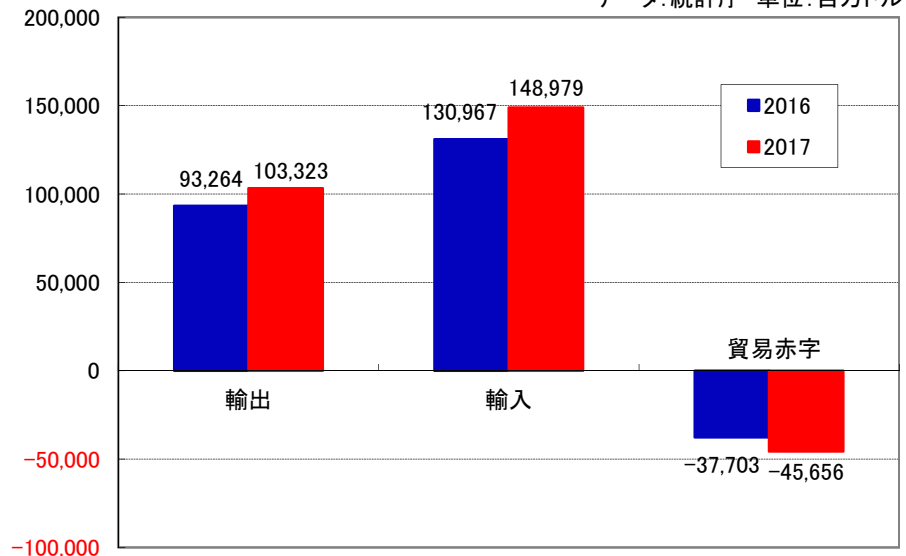
内訳	2016年(A)	2017年(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲22,887	▲27,225	▲19.0%
貿易収支(物品)	▲27,685	▲34,043	▲23.0%
サービス収支	9,673	12,079	24.9%
旅行収支	8,671	10,583	22.1%
その他サービス収支	1,002	1,496	49.3%
第1次所得収支	▲5,912	▲6,764	▲14.4%
第2次所得収支	1,037	1,503	44.9%
労働者送金	365	298	▲18.4%
その他第2次所得収支	672	1,205	79.3%
資本移転等収支	23	17	▲26.1%
金融収支	▲18,394	▲28,786	▲56.5%
直接投資	▲5,623	▲4,917	12.6%
証券投資	▲10,278	▲20,088	▲95.4%
その他投資	▲12,955	▲2,383	81.6%
外貨準備	10,462	▲1,398	▲113.4%
誤差脱漏	4,470	▲1,578	▲135.3%

貿易収支(2017年1-8月)

(1) 2017年1-8月の輸出額は1,032億ドル(前年比10.8%増)、輸入額は1,490億ドル(同13.8%増)となり、この結果、貿易収支は457億ドルの赤字(同21.1%減)となった。

(2) 2017年1-8月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は46.2%(前年48.3%)、輸入額におけるEU向け輸入の占める割合は35.6%(同39.0%)となっている。

データ:統計庁 単位:百万ドル

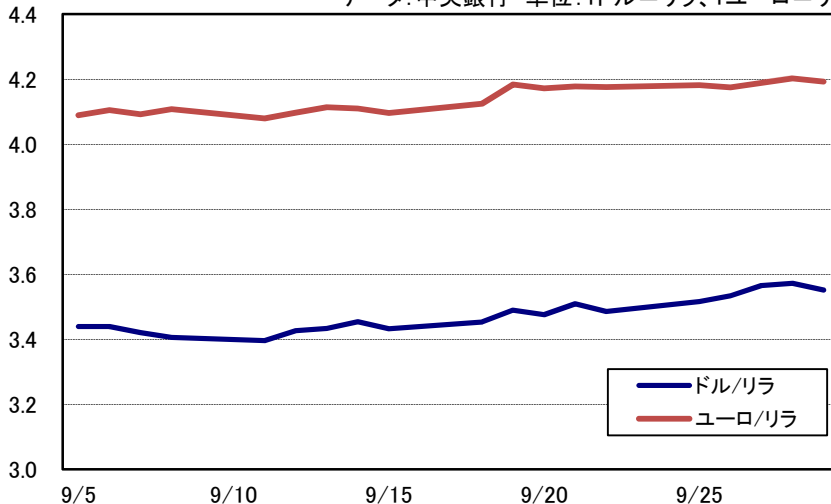


為替(9月)

(1)9月のドル・リラ相場は、月初から月を通してリラが売られ、最終的には、1ドル=3.55リラとなった。

(2)ユーロ・リラ相場は引き続き、ユーロが買われ、一時1ユーロ=4.2リラを超え、最終的に1ユーロ=4.19リラで越月した。

データ:中央銀行 単位:1ドル=リラ、1ユーロ=リラ



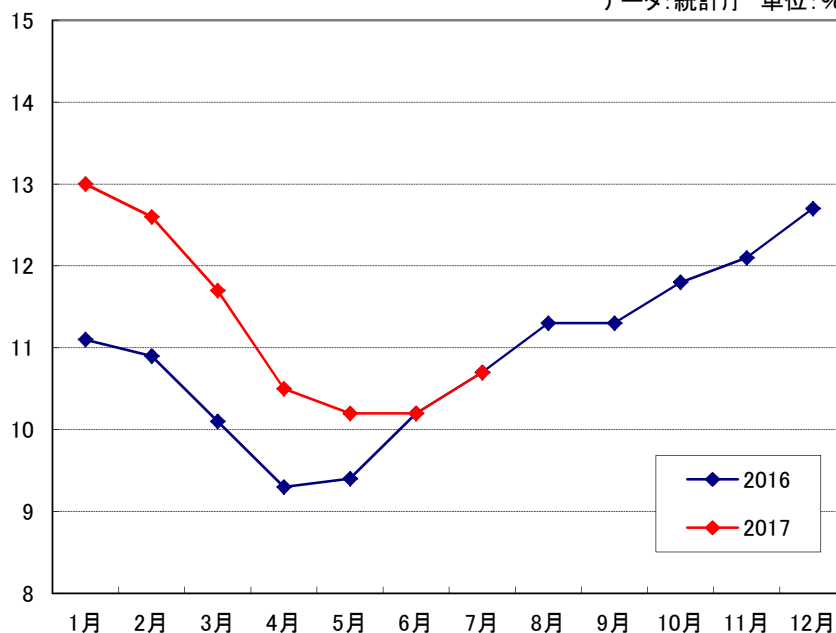
失業率(7月)

(1)2017年7月期の失業率は、10.7%。前年同期から変わらず、前月から0.5ポイントの上昇。

(2)労働力人口は3,220万人、就労者数は2,876万人、失業者数は344万人。

(3)男性の失業率は8.8%、女性は14.6%。若年層(15-24歳)の失業率は21.1%となっている。

データ:統計庁 単位:%



物価上昇率(9月)

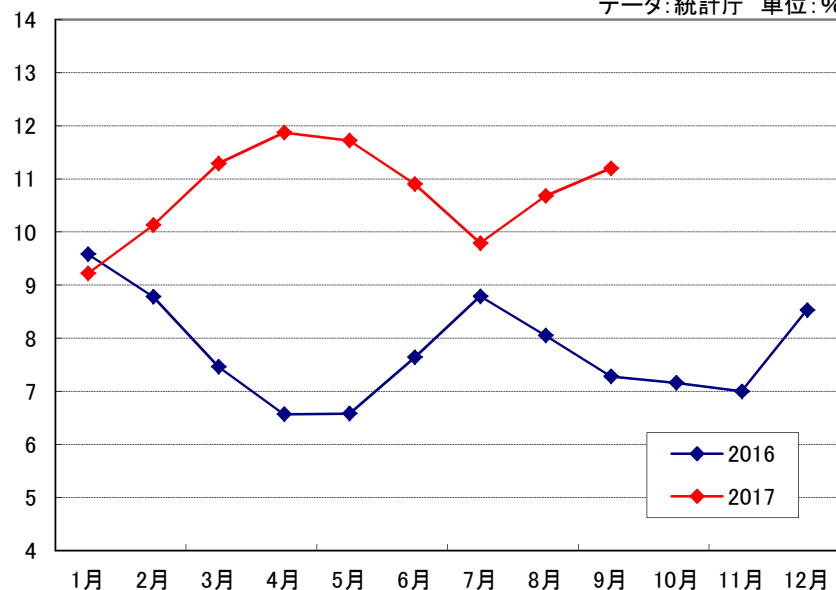
(1)2017年9月の消費者物価は前月から0.65%の上昇。年間では11.20%の上昇。

(2)分野別に見ると、前月と比べて最も上昇したのは教育で2.08%。年間で最も上昇したのは運輸で16.10%。

(3)本年末の中銀見通しは9.8%。

(4)国内生産者物価指数は前月から0.24%上昇し、年間で16.28%の上昇となった。

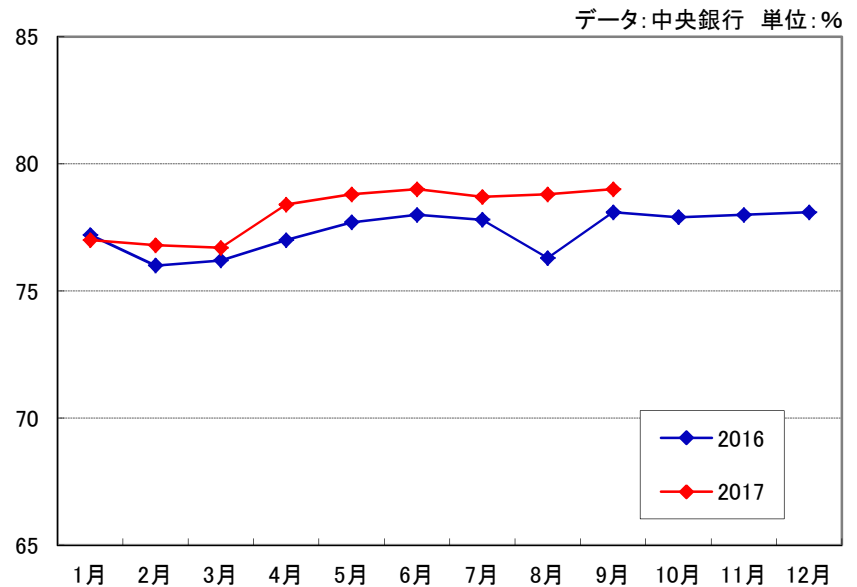
データ:統計庁 単位:%



設備稼働率(9月)

(1) 2017年9月の設備稼働率は79.0%となり、前月から0.2ポイントの上昇。前年同月からは0.9ポイントの上昇となった。

(2) 製造業の分野別では、自動車、トレーラー及びセミトレーラー(85.6%)が最も稼働率が高く、革及び革関連製品(58.7%)が最も低い稼働率であった。

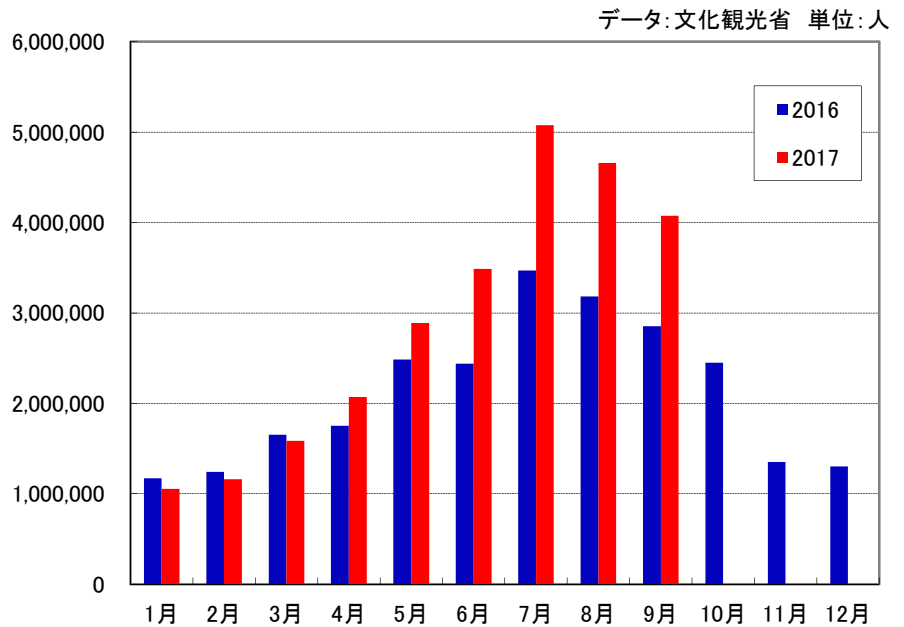


外国人訪問者数(9月)

(1) 2017年9月にトルコを訪れた外国人訪問者は408万人であり、前年同月比42.8%増となった。

(2) 訪問者数を国別に見るとロシアからが最も多く78.9万人で全体の19.4%を占める。以下、ドイツ(42.3万人)、イラン(33.7万人)となっている。

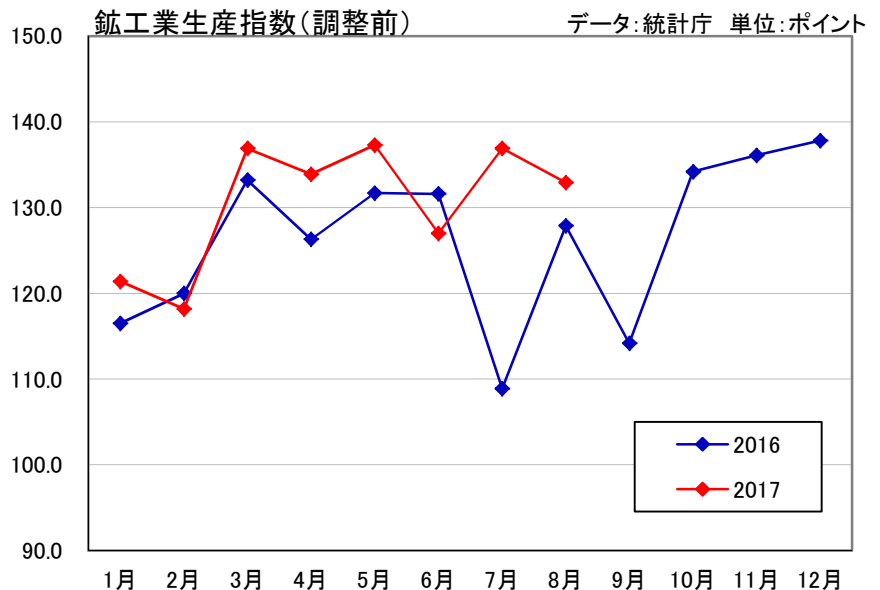
(3) なお、日本からの訪問者は5,568人(前年同月比45.6%増)となった。



鉱工業生産指数(8月)

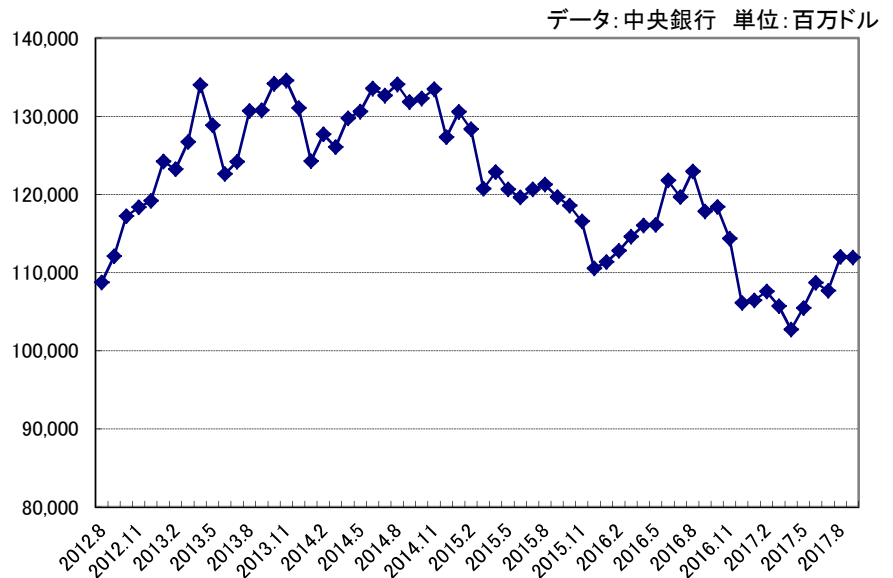
(1) 2017年8月期の鉱工業生産指数(調整前)は132.9ポイント(2010年=100)となり、日数調整後の前年同月比は5.2%の上昇、季節及び日数調整後の前月比は0.1%の下落。

(2) 分野別では、耐久消費財が前月比8.4%増、非耐久消費財が同2.6%増となっている。



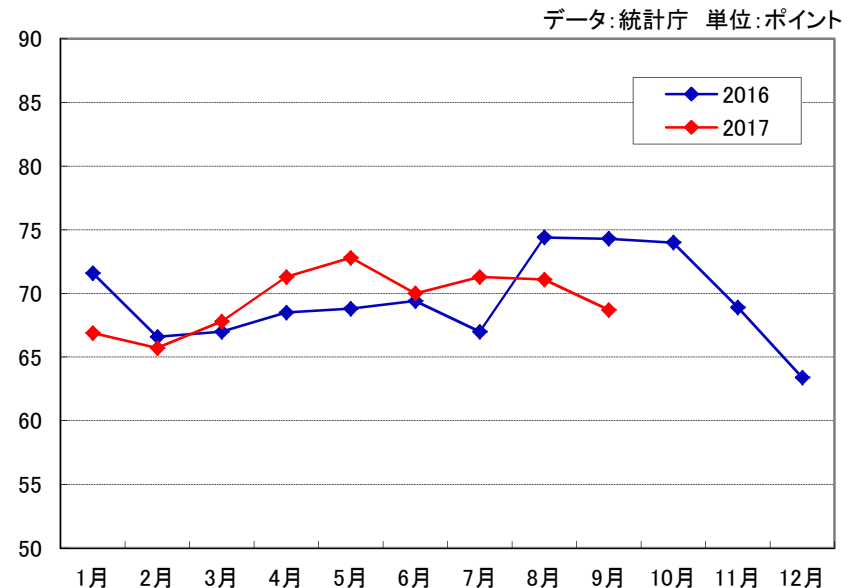
外貨準備高(9月)

(1)2017年9月時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,119億ドルとなり、2か月連続で1,100億ドル台を維持した。
 (2)このところ、外貨準備高は2012年の水準まで落ち込んでいる。



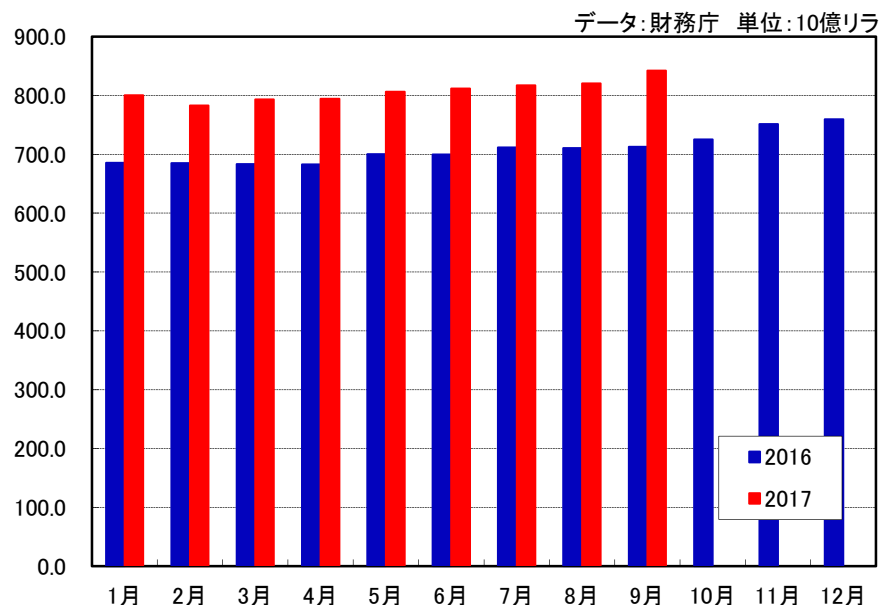
消費者信頼感指数(9月)

(1)2017年9月期の消費者信頼感指数は前月の71.1ポイントから3.4%下落し、68.7ポイントとなった。
 (2)内訳では、一般経済見通しが3.3%下落し94.7ポイント、貯蓄可能性が10.0%下落し20.2ポイントとなった。



中央政府債務残高(9月)

(1)2017年9月時点での中央政府債務残高は8,425億リラとなり、前年同期比18.2%増加した。なお、前月比では2.7%の増加となった。
 (2)また、国内債務比率と自国通貨債務比率は共に62.1%となっている。
 (3)なお、円建て外債(サムライ債)の発行により、債務残高のうち円は2.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。